



西谷英和さん



若月和男さん



竹村抄希子さん



高橋紀子さん



坂下直美さん

新加入を祝う会」62名が集結

# あなたは私たちの光です



「光」の新加入者

毎年恒例の高教組主催「退職者を励まし新加入を祝う会」が4月29日、高知城ホールで開催され、高退協の面々も参加して楽しく過ごしました。

会には高教組組合員と高退協会員合わせて62名が集まり、高知城ホール4Fがほぼテールで埋まり、コロナ禍を感じさせないほどの盛会となりました。

谷内康浩高教組委員長の開会あいさつに続き、10名の退職組合員（全退職組合員数は21名）が登壇、一人ひとりに花束とアンパンマンクッキーの進呈があつて、順番に挨拶がありました。組合員に入つて良かったこと、先輩に世話になったこと、ずっと組合員であったことが自慢、この会に来て本当に懐かしいお顔に感激していること、など二人一分間スピーチ（司会者）では足りない思いをそれぞれ語られました。昨年度加入した新組合員も紹介され、学校現場勤務の看護職として障害児の生命と健康を守って走り回っていると言われま



4月29日、「憲法施行76周年県民のつどい」(2023憲法集会実行委員会主催)が開催され、「戦争を回避する道すじ」と題して、前川喜平さんの講演が行われました。

講師紹介で、文科省宗務課長時代の「旧統一教会」名称変更許可問題、文科省事務次官(事務方のトップ)時代の加計学園グループの岡山理科大学獣医学部新設計画をめぐる問題の当時者であったことに触れられたことから、まずはその真相から講演が始まりました。

つづいて演題である「戦争を回避する道すじ」について講演が行われました。講演では、ロシアがウクライナでしていることは日本が戦争中にやっていたこととであり戦争で犠牲になるのは弱い立場の子

どもや市民であること、1928年の不戦条約は世界で初めて戦争を違法とし(第二次世界大戦は防ぐことはできなかったが)その精神は国際連合という形になつて様々な困難に直面しながらも平和を追求し続けていること、など。

また、日本は押し付けではなく自主的に戦争の反省の上に立つて平和憲法を制定したのであり、平和憲法の改悪を許さず、人権、そして平和的生存権を保障し、最大の人権侵害である戦争が起こりえない社会を創造し、それを国際社会に広げたいことこそ「戦争を回避する道すじ」であることが語られました。

平和憲法改悪を許さない、私たち一人ひとりの願いや具体的な取り組みが、今日、ますます重要になつてい

## 憲法施行76周年県民のつどい 戦争を回避する道すじ



熊沢美郎